

議決事項

件名	提案理由	審議の状況	採決の次第
報告第19号 平成27年度9月補正予算案についての市長への意見申出について	9月補正予算案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告するものである。	特記事項なし	

平成27年度第6回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>平成27年9月10日（木）</p> <p>午後3時00分</p> <p>↓</p> <p>午後3時54分</p> <p>第2研修室</p>	<p>教育委員長 野村 繼治</p> <p>教育委員 田原 正人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育委員 葛迫 幸平</p> <p>教育長 長濱 重光</p>	<p>教育総務課長 保久上 光昭</p> <p>学校教育課長 下江 嘉誉</p> <p>社会教育課長 森山 博之</p>

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成27年度第6回教育委員会定例会を開会した。

2 平成27年度第5回定例会会議録の承認 承認

3 委員報告

4 議 事

報告第 19 号 平成 27 年度 9 月補正予算案についての市長への意見申出について

5 その他

6 閉 会

<p>3 報 告</p>	<p>委員報告</p>
<p>委員長</p>	<p>教育委員の報告に入る。</p>
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月17日、18日に実施された「あつまれわんぱく！夏の勉強会」を参観した。希望者が多く昨年の約2倍という大人数の参加があり、喜ばしいことであった。子どもたちは緊張感と期待感が入り混じった顔で、進取の眼差しが印象的で輝いて見えた。この体験が新たな自己認識、自己変革のチャンスになるので、ぜひ変わって欲しいと強く願うことだった。 ・ 8月26日に市町村教育委員会委員研修会が開催された。今日の地方教育行政の教育課題について、情報提供、意見交換をすることで相互理解を深め、委員の意識を高めるという趣旨の研修であった。午前は県担当課から教育課題についての分析、報告があり、午後は地域での学校づくり推進活動をテーマに、各地域の事例が数多く提示され活発な討議が進んだ。田原委員には先頭を切って発表していただき、その後の活発な発表、意見が引き出され、大いに盛り上がるきっかけを作っていた。
<p>田原委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月26日開催の市町村教育委員会委員研修会に参加した。県担当課から情報提供がなされ、意見交換という流れだった。この会でいいのは、全国的に見てどうなのかの報告があり、それと比べて本市がどうなのかが分かることである。例えば、新教育会制度の進捗状況の中で、総合教育会議の開催が全国で6月1日現在の調査で40%、6月中の開催を含めれば60%台という状況とのことであった。大綱の策定やその他の政策協議が行われる中で、学力向上、施設整備、いじめ防止対策、学校統廃合、子育て支援等の順で取り上げられていた。研修会の協議題にも学校統廃合とか入っており、この方針で進められるのだなと思うことであった。 ・ 義務教育課からは、ちょうどこの日に新聞で公表された全国学力・学習状況調査の結果について報告があり、その対策として鹿児島学力向上プログラムという新規事業の紹介もあり、今後、我々も勉強していかなければいけないと思った。午後は、野村委員長の司会で学校応援団の取組み等の協議が行われ、時間一杯意見が出され、本市の取組状況を報告した。 ・ 9月6日の社会福祉大会に参加した。そこ中で保健福祉作文最優秀作品の発表があり、小学生2名、中学生1名、高校生1名が受賞した。中でも内容が素晴らしいと思ったのは、垂水高校の楠本ももかさんの「私を変えた500円」であった。高校1年でやろうと思ったけれどもできなかった経験があり、3年生になって同じ場面に遭遇し勇気をもって実行したところ、相手に感謝され、お礼にとその女性が500円玉を握らせたとの内容であった。発表で良かったところは、この経験を通して成長ができたというあたりであり、聴く人の心を打ったと思う。そのほかに講演等もあり、女性講演者の元気のあるパワーに圧倒されるような内容で、男性より女性が元気だなと思うとともに、自分たちも負けないで頑張っていかなければと思った。

中谷委員

- ・暑い夏が終わって、去年にも増してただただ忙しい毎日であった。よく自分の身体が続いたなど驚いている。たくさんのお世話をこなせたのも、皆さんにお世話になっているからだ感謝している。地域にすべての年齢層がいてくれるから何でもできるのだと改めて思っている。
- ・8月16日に柊原小学校体育館で納涼大会を実施した。参加人数は130人。市教委担当者に来ていただいて、国文祭の案内もすることができた。
- ・8月22日に「わだち会夏季研修会」に参加した。女性で現在、校長先生や教頭先生という管理職である、あるいは元管理職であった方、それに教育委員を加えた女性ばかりの会で、参加者の最高齢は95歳の先生であった。長濱教育長の講演会を聴いた後に食事会もあり、「何事にも丁寧に、一生懸命当たりなさい」という長濱教育長の講演内容に感銘を受けた多くの参加者から、いろいろな話をお聞きしたことを報告しておきたい。
- ・8月27日に市要保護児童対策地域協議会に参加した。児童相談所所長、乳児院の園長先生、校長先生も出席されていた。この3日ほど前に、垂水中央中学校長からの依頼を受けている地域のある生徒のことと、もう1件関わりを持っている子どもについて、今後、体育大会や運動会で保護者に会えるので、勇気をもって当たっていかうと計画している。
- ・9月6日の社会福祉大会にも参加した。
- ・9月7日に垂水中央中学校の朝のあいさつ運動に参加した。正門であいさつするのだが、1学期より元気のない子が目についた。休み明けの新学期でまだリズムがつかめないのか、疲れが出ているのか、何か心配事があるんじゃないだろうかというような暗い顔をした子もいたので、今後、聞いてみたいと思っている。どの子どもも早くリズムをつかんで、長い2学期を乗り越えていけたらいいと思っている。

葛迫委員

- ・8月17日、18日に行われた「あつまれわんぱく！夏の勉強会」を拝見した。夏休みも半分過ぎたこの時期に、夏休みの宿題や課題であったり苦手な科目について、子どもたちが一生懸命勉強している姿は印象的だった。先生方も夏休みのこの時期に集まって、子どもたちに献身的に教えていただいていた。この姿勢が2学期につながっていけばとも思った。子どもたちがいろんなことに疑問を持ったり、一つでも好きな科目ができていけばいいと思った。
- ・国文祭の和田英作・和田香苗記念全国絵画コンクール応募作品が、9月1日から6日にかけて搬入された。4日に搬入の手伝いをお願いしていた鹿児島市の画材店等を回って来たが、2台のトラックに40点ほど受け取ってきた。この画材店には、当初、搬入拠点として早くからお願いしていたので、もっと作品が集まっていると思っていた。他市町の絵画コンクールとバッティングしたのかもしれないが、この絵画コンクールが国民文化祭の継続事業であることが、県実行委員会からの情報でうまく伝わっていないのではないかと感じた。それでも、最終日の6日(日)には、京都から母子が自家用車で直接作品を搬入して来られた。国文祭がいかに大きなイベントであることか初めて身に沁みる思いだった。この作品搬入を見ても、国文祭はもう始まっていると思うのだが、雰囲気盛り上がるのぼり旗もジャンパーも届いていないというのは、県の対応が遅いのではないかと感じる。同じジャンパーを羽織ることで、盛り

葛迫委員	上がりが加速していくのではないか思っていたので残念であった。本市実行委員会本部としても、これからも予期せぬことが起きて大変だと思うので、教育委員会の皆で知恵を出し合って乗り切っていかなければいけない。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み期間中、児童生徒、教職員を含めて、大きな事件、事故もなく過ごせて良かった。2学期は、運動会をはじめ行事も多いけれども、学力を含めて実りある教育活動ができたと思っている。 深港川土石流による国道の通行止めでいろいろあったけれども、川下側に仮橋が設置され安心安全に通行できる環境が整った。スクールバスを含め児童生徒の通学の安全確保ができて、大きな懸案が一つなくなったということではっきりしている。今後、国交省の方で、現在の橋をどうするか検討がなされるということであるが、しばらくは時間がかかるものと思われる。 夏休み期間中、「あつまれわんぱく！夏の勉強会」を含めて、いろんな児童生徒を対象とした行事や教職員を対象とした研修会を、職員の頑張りにより展開できたことから、先生方にとっても資質を高めるいい機会になったと考えている。
教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長	8月11日から9月10日までの主な行事等について報告。併せて、10月9日までの予定についてお知らせした。
4 議 事	報告第 17 号
教育総務課長	平成 27 年度 9 月補正予算案についての市長への意見申出について補正予算案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告した。
田原委員	この校務用パソコンは購入か、リースか。
教育総務課長	購入である。リースの場合、総体負担額は大きくなるが、リース期間中の各年度の負担の平準化が図られ、単年度毎の負担は軽くなる。今回の購入方法として、より安価で購入できるよう県下 14 団体がまとまって購入という形を取っており、見積もりの 7 割を切る額で購入できている。
田原委員	パソコンは廃棄するのか。
教育総務課長	情報等を全て削除の上、廃棄する。
5 その他	なし
6 閉 会	